



会長挨拶

佐藤 友彦

皆さん、こんにちは。本日も例会に出席頂きましてありがとうございます。また、先に日曜日の地区大会にも多くの方にご参加を賜り、重ねて御礼申し上げます。当日、参加出来なかった会員もいらっしゃると思いますので、本日は地区大会について少しお話をさせて頂きたいと思います。私はロータリーの大会をはじめ他団体の諸大会に多く参加させて頂いています。参加する際に常に意識している事は目的意識を明確にて参加する事です。また、少なからず時間とお金を使って参加しているので、何か一つでも気づきや学びといった副産物を持って帰ろうとしています。そして、それぞれの大会が開催される意義を理解した上で参加する事も大切だと思っています。今回の地区大会に関して言えば細かく上げればもっと多いかもしれませんが、大きく3つの意義があると私は思います。

- ① 地区の事業の発信と活動状況の共有の場である。
- ② 会員の意識高揚を図りクラブ活動が前進するきっかけとなる。
- ③ 友との再会を喜び、またの再会を約束する場である。

大会は全てにおいて同じ大会は二度ありません。その大会毎の設えやクラブの参加者も変わるので参加した方のみ、得られることが必ずあると思っています。今回、参加頂いた方々は引き続き積極的に参加頂きたく思うと同時に参加できなかった方々は是非、次の機会に参加頂ければ幸いです。今夜は忘年会もあり長丁場な一日となりますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。。

幹事報告・連絡事項 無し

スマイルボックス

井上勝典君(第9G ガバナー補佐・足柄 RC)

日頃は大変御世話になります。本日は来る1月24日開催のIMに貴クラブの皆の多くの参加をお願いに伺いました。宜しくお願いします。

立川公一君(第9G IM実行委員長・小田原中 RC)
本日はIM・合同例会のPRにまいりました。よろしくお願いいたします。

西山敦君

地区大会欠席しました。地区大会で長寿会員として表彰されました。

平間章弘君 地区大会欠席しました。

平間章弘君 ネームプレートを家に持ち帰りました。

常盤孝司君・望月博文君

26日、地区大会欠席してしまいました。

石川浩子君

本日の有志忘年会にファンシーをご利用頂きましてありがとうございます。

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 2名

会員 22名 欠席5名(免除者0名)

出席率 77.27%

前回の修正出席率 90.91%

前々回の修正出席率 90.91%

事前メイクアップ 4名

ビジター 井上勝典君(第9G ガバナー補佐・足柄 RC)

立川公一君(第9G IM実行委員長・小田原中 RC)

クラブ年次総会

クラブ年次総会では佐藤会長より会長就任後半年間の振り返りと会長エレクト(=次年度)・幹事エレクトと会長ノミネー(=次々年度)の発表があり、「会長エレクトは高杉尚男会員、幹事エレクトは安江仁孝会員、会長ノミネーは渡辺久恭会員にお願いする」方針が報告され、場内は異議なしの拍手で満たされました。

続いて高杉会長エレクト、安江幹事エレクト、渡辺会長ノミネーが順次登壇し、来たる会長・幹事職への決意をそれぞれに示されると、総会は和やかな雰囲気のまま終了しました。

(文:会報委員会)

ロータリー財団は「世界で良いことをしよう」の理念の下、会員の寄付で運営されており、その寄付が「人を育てるロータリー財団」の活動として、平和フェローやロータリー奨学生のための奨学金として活用されています。

第2780地区平和フェロー・奨学金委員会は、3つの奨学金プログラム(平和フェロー奨学金・ロータリー奨学金・第2780地区ロータリー奨学金)を担当しています。

1. 平和フェロー奨学金

平和は「人」から始まるという趣旨の下、人材育成を目的として、ポール・ハリス没後50周年を記念し創立された奨学金プログラムです。平和フェローシップ(支給型の奨学金)を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。平和センターは、現在世界7カ国(アメリカ・日本・イギリス・オーストラリア・スウェーデン・タイ、ウガンダ)、8つの有名大学(デューク大学/ノースカロライナ大学・国際基督教大学(ICU)・ブラッドフォード大学・クイーンズランド大学・ウプサラ大学・チュラロンコン大学、マケレレ大学)に設置されています。選考基準はプログラムにより異なりますが、「国際関係」「平和」「紛争解決」の分野で3~5年間の職歴を有し、学士号に相当する学位、第二言語能力など、国際的または地域社会での人道的活動や平和活動に取り組む熱意がある人が世界審査により選出されます。この奨学金は1人あたり約80,000ドルが支給されます。

毎年世界で約130名のロータリー平和フェローが選ばれ、平和と紛争解決分野の専門能力開発及び平和と安全保障分野のプログラムを学びます。各平和センターでは、独自のカリキュラムと実地研修が適用され、さまざまな方法で平和と紛争解決の研究が行われています。卒業後は、国際機関やNGOでリーダーシップを発揮し、より平和な世界を築くために活躍しています。日本には東京三鷹の国際基督教大学(ICU)に平和センターがあります。第2750地区を中心とした第2780地区を含む近隣6地区が「ホストエリア連絡協議会」を形成し、当地区では毎年25,000ドルを平和センターへ支援しています。

国際基督教大学には毎年10名の平和フェローが来日・修学します。当地区では毎年1名もしくは2名をホストし、カウンセラーを選任いたします。近年コロナ禍で来日がかないませんが、2022年8月に当地区がホストする平和フェローが4名来日いたします。

2. ロータリー奨学金

ロータリー財団とクラブは大学・大学院レベルの奨学金を通じて、地域や世界で活躍できる未来のリーダーを育成しています。ロータリー奨学生2人目の緒方貞子さんは学友人道奉仕世界賞を受賞されました。また第2780地区厚木 RC の推薦で1987年にアメリカに留学された中満泉さんは国連事務次長になり、現在国連を代表して世界の軍縮を推し進めておられます。以前の地区大会で新世代交流会のファシリテーターをされた UNHCR の中村恵さんもロータリー奨学生で

した。

ロータリー奨学金(グローバル補助金奨学金)は世界で求められている人道的ニーズや、「ロータリーの7つの重点分野」に関連した研究のため、大学院または同等の研究機関への留学を支援するプログラムです。この奨学金は1人あたり約30,000~36,000ドルの支給型奨学金です。留学後、世界各国で平和の活動に携わる、平和を担う人材を育成するプログラムとご理解頂きたいです。

3. 第2780地区ロータリー奨学金

第2780地区ロータリー奨学金(地区補助金奨学金)とは、海外の大学または大学院で1~2年間、研究分野や芸術・文化を学ぶための留学先を問わない奨学金です。この奨学金は1人あたり約24,000ドルの支給型奨学金です。

【奨学生募集について】

奨学生は4月に応募開始、11月の選考試験、オリエンテーションを実施します。毎年とても優秀な方々が応募されます。ロータリーの奨学金制度は世界平和を目指す学生を育てています。会員の皆様からの頂く年次寄付1人あたり200ドルの内、約70ドルはこの人材育成に使われます。

これらの奨学金プログラムは全て財団への寄付金で運用されています。そして奨学生の多くが世界中で活躍しています。つまり皆様一人一人の寄付がそれに大きく貢献しているわけです。ぜひこのことには誇りを持っていただきたいと思えます。そして引き続きロータリー財団へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

地区大会参加報告

11月26日(日)、相模女子大学グリーンホール(相模大野)にて2023-24年度第2780地区・地区大会が開催され、湯河原ロータリークラブからは佐藤会長、櫻井幹事をはじめとする総勢13名が参加いたしました。一行は地区大会ならではの貴重な光景を目に焼き付け、奉仕と親睦の理念のさらなる追求への決意を新たとしながら、湯河原帰還後、有志による打ち上げにてさっそくその実践を行いました。

ご参加の皆様、お疲れ様でした。

